

提言のイメージ

現状把握

・人口推計、財政見通し、公共施設の維持管理・更新等経費等

課題の整理

- ・人口減少、少子高齢化
- ・恒常的な財源不足、社会保障経費の増加
- ・施設の老朽化、耐震化の促進
- ・施設の更新等経費の増加 など

検討の方向性

- ①サービス水準を出来る限り維持しながら、公共施設の総量を抑制し、将来への負担を軽減するとともに、受益者負担の適正化を図る。
- ②ハコモノにこだわらず、施設から機能を切り離れたうえで、公共施設の有効活用・適正配置を図る。
- ③市と民間との役割を明確にするとともに、出来る限り民間活力を活用していく。

中間報告

今後の検討項目

公共施設の見直しにより目指すべき市の姿
(安全・安心なまちづくり、学校教育の充実、計画的・効率的な行財政経営など)

各施設の方向性・見直し案 (更新・維持・統合・廃止など)

まとめ (目指すべき姿の実現、見直しの効果、さらなる行革の必要性など)

提言